

横浜市政記者、横浜ラジオ・テレビ記者会 各位

庭園を飾る優雅な花

—三溪園花しょうぶ展を開催—

庭園のシンボル三重塔と大池の景色を彩る花菖蒲が見ごろを迎えるこの季節、三溪園では鉢植えの花菖蒲を展示する「第4回三溪園花しょうぶ展」を開催します。

展示されるのは、日本花菖蒲協会の会員が丹精込めて育てあげた花で、江戸時代から伝えられてきた貴重な品種も見ることができます。花菖蒲は開花期間が1～2日と短いため、本展では200鉢の中から毎朝、美しく開花したものを選びすぐり40～50鉢を展示します。庭園内に植えられた花菖蒲とは対照的に、一花ごとをじっくりと観賞していただけます。



三重塔と花菖蒲



花しょうぶ展の様子（昨年度）

- 【イベント名】 第4回三溪園花しょうぶ展
- 【開催日程】 2019年6月10日（月）～6月16日（日）
- 【会場】 三溪園 中央広場
- 【内容】 鉢植えの花しょうぶの展示 40～50鉢（約200鉢の中から毎朝、選びすぐりの花を展示）
- 【時間】 10:00～16:00（開園時間は9:00～17:00）
- 【販売等】 苗や切り花を販売します（無くなり次第終了）
- 【主催】 公益財団法人三溪園保勝会
- 【共催】 日本花菖蒲協会
- 【観覧料】 無料（入園料は別途必要です）
- 【入園料】 おとな（高校生以上）700円、こども（小・中学生）200円
- 【参考】 庭植えの花菖蒲の数：約750株（約2万本）

花しょうぶ展 位置図



展示のようす（昨年度）

三溪園の花菖蒲について—庭植えの花菖蒲—



鶴翔閣と花菖蒲

明治 39 年に開園した三溪園には、当初 2000 本余りの梅が移植されましたが、大暴風により大半が枯れてしまったことから、次なる目玉として植えられたのが花菖蒲でした。その数は 10 万株、96 種にのぼったといわれています。

現在、三溪園にある花菖蒲は、昭和 34 年に明治神宮から株分けされた苗を大切に育てたもので、その数は約 750 株＝2 万本に及びます。三溪園のシンボル「旧燈明寺三重塔」や原家の旧宅「鶴翔閣」を背景に咲き乱れ、初夏を代表する花として親しまれています。

《所在地》 横浜市中区本牧三之谷 58-1

《交通アクセス》

- JR 根岸線根岸駅から市営バスで 10 分、「本牧」バス停下車、徒歩 10 分
- 横浜駅東口から市営バスで 35 分、「三溪園入口」下車、徒歩 5 分
- 桜木町駅から市営バスで 25 分、「三溪園入口」下車、徒歩 5 分
- みなとみらい線元町中華街駅 4 番出口から市営バス（「山下町・タワー入口」）で 15 分、「三溪園入口」下車、徒歩 5 分
- ぶらり三溪園 BUS（土休日限定）：横浜駅から三溪園 45 分

【お問合せ】 三溪園（公益財団法人 三溪園保勝会）事業課 羽田、吉川
TEL.045-621-0634・0635 / FAX.045-621-6343